

# 第 1 回

## 令和5年度 宇都宮短期大学附属中学校

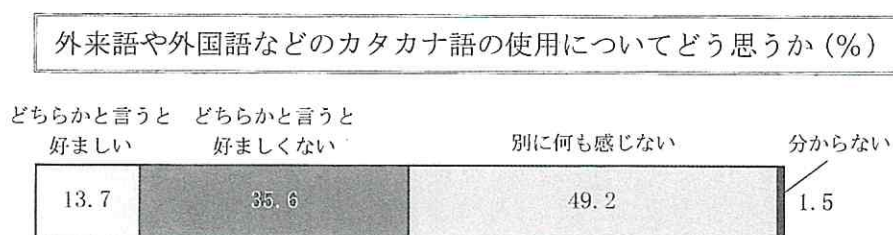
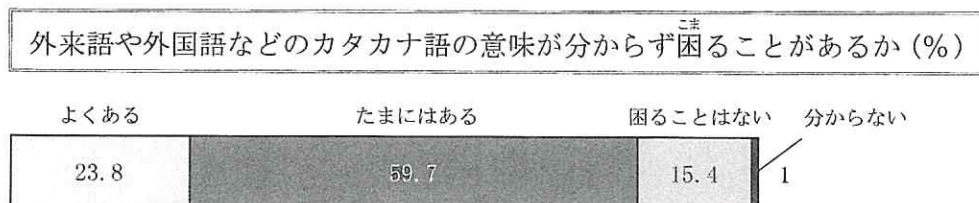
### 入 学 試 験 問 題

### 作 文

#### 注 意

- 1 「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 試験時間は40分間です。
- 3 問題数は大きな問題が1問で、問題文は1ページから2ページまであります。
- 4 原稿用紙げんこうの正しい使い方したがに従って、解答用紙にたて書きで書いてください。
- 5 先生の合図があったら、すぐに受験番号と氏名を解答用紙に記入してください。
- 6 題名は書かないこと。
- 7 試験中に質問があれば、手をあげて先生に聞いてください。
- 8 「やめ」の合図があったら、すぐやめて、鉛筆をおいてください。

ある小学校の6年生のクラスでは、国語の授業で外来語や外国語などのカタカナ語について、話し合いをしています。みんなは、先生から配られた資料（図）を見ています。



（文化庁 国語に関する世論調査より）

Aさん： 資料を見ると、「外来語や外国語などのカタカナ語の意味が分からず困る」ことが「よくある」「たまにはある」と答えた人がとても多いね。

Bさん： でも、今の社会は国際化が進んでいるので、外来語は積極的に使っていくべきだと思うのだけど。

Cさん： 私は、お年寄りなど相手によっては、話が通じなかったり、意味を取りちがえたりすることもあるから、だれに対してもできるだけ外来語は使わない方がいいと思うな。

Dさん： 確かに、カタカナの言葉は専門的知識がないと分からないものがたくさんあるよね。わざわざカタカナに言い換えなくても、それを表す美しい日本語があることも多いし、日本語の良さが失われてしまいそう。

Aさん： でも、「オンライン」「バリアフリー」のように、日本語では微妙な意味合いが伝わりにくいものもたくさんあるよ。

Bさん： そうだね。日本語にはなかったものの考え方や見方もたくさん入ってきているし、新しい言葉は必要だと思うな。

Cさん： カタカナの言葉だからといって外国人に通じない言葉もあるし、聞いてすぐに意味が分かる言葉で会話することが大切じゃないかな。

Dさん： 言葉づかいが乱れてきて、正しい日本語が<sup>みだ</sup>使えなくなっている人も多そうだよな。

この後も話は続きました。

外来語や外国語などのカタカナ語の使用について、あなたはどのように考えていますか。  
図や会話を参考にして、次の条件に従<sup>したが</sup>って書きなさい。

(条件)

ア あなたの立場をはっきりさせて書きなさい。

なぜそう思うのか、理由も書きなさい。

イ あなたが経験したこと、または、見聞きしたことにもふれなさい。

ウ 字数は600字以内で書きなさい。